

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 「復興元年」を教育振興運動で！～

< 目次 >

- 1 【読書推進】学校図書館改造プロジェクト（盛岡市立月が丘小学校の実践）
- 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
- 3 【編集後記】あつしのひとりごと

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

ここをクリック⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

- 1 【読書推進】学校図書館改造プロジェクト（盛岡市立月が丘小学校の実践）

“岩手県学習定着度状況調査”の意識調査の児童生徒の回答をもって、全県共通課題（家庭学習の充実、読書活動の推進）の改善状況を確認しているところですが、次のように顕著な成果をあげている小学校があります。

「学校の授業以外で、1日にほとんど読書をしない」と回答した児童（不読児）

○小4；〔H22〕35.4%	⇒	〔H23〕10.0%
○小5；〔H22〕37.7%	⇒	〔H23〕17.3%
○小6；〔H22〕28.4%	⇒	〔H23〕18.8%

いかがでしょうか？この成果をあげた盛岡市立月が丘小学校は、平成23・24年度国立教育政策研究所教育課程研究センターの研究指定を受け、読書力を育てる学習過程の改善を通して、自ら考え学び続ける児童の育成に取り組んでいます。

学校は言語活動の充実を図る授業展開の工夫や教育課程における多様な読書活動を、家庭はファミリー読書による子どもの読書活動の支援を、地域は毎週月曜日の朝読書による読み聞かせや図書修理、読書キットの作成を、子どもたち自身は読書を楽しみながら言語能力・学力を伸ばしています。

また、児童自身・教員・保護者・地域ともに読書力育成の重要性を認識していなかったこと、司書教諭・読書活動支援員・読書ボランティア・児童の図書委員会のそれぞれの役割が不明確で実効性の低い読書活動であったこと、教育課程に根付かない読書活動をおこなっていたことを課題に掲げて「学校図書館改

造プロジェクト」を立ち上げました。

課題の解決に向けて取り組む象徴として、目に見える形で学校図書館の改造に取り組んだのでした。“おやじの会”のお父さんたちが、ベンチをつくってくれたり、利用者の視点で図書館の配置や掲示物の工夫がなされたりしています。

図書委員の児童による低学年児童への読み聞かせや読書ボランティアによる保護者への読み聞かせ会の開催など、自らが本を読むだけではなく、他の人への働きかけを通して読書の楽しさを伝える取組も行われています。

★月が丘小学校の研究実践「学校図書館改造プロジェクト」はこちら

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24tukigaokadokusyo.pdf>

2 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) 燃えたよ。まっ白に・・・燃え尽きた。まっ白な灰に・・・。

(教ちゃん) 立つんだ、ジョー・・・じゃない。 振ちゃん！

(振ちゃん) ああ、おっちゃん。ゴールデンウィークが、終わったよ・・・。

(教ちゃん) 新学期が始まって、まだ1カ月よ。しっかりしなさいよ。いいこと教えてあげるわ。今日ね、“エフエム花巻”のフラワーガーデンという番組に、清心ちゃんが出演するのよ。(12:00~12:20)

(振ちゃん) き・き・清心ちゃん？そ・そ・そういえば、“エフエム花巻”には、歌詞公募の宣伝の時にも出演させてもらったよね。また、出演するんだね。

(教ちゃん) 急に元気になったわね。花巻市の皆さん、是非聞いてくださいね。

(振ちゃん) そういえば、聞いた？『教振メルマガ』を書いている“あつし”さん。毎週、県内エフエム局の各局各番組に「Hand In Hand」をリクエストするメールを出しまくっているんだって・・・。

(教ちゃん) うわ～、暇ね・・・。いやいや、仕事熱心ね！

(振ちゃん) きっと、「オールナイト〇〇」といった深夜のラジオ放送にもハガキを送っていた世代だよな。

(教ちゃん) それだけ、「Hand In Hand」を応援しているってことよ。私たちも、しっかり応援しなくちゃね。

(振ちゃん) 今週の11日に開催される“教育振興運動市町村担当者研修会”でも、清心さんのミニ・コンサートがあるんだ。楽しみだな。

(教ちゃん) そうね。研修会の様子は、次回ご報告しますね。

3【編集後記】あつしのひとりごと

桜満開のゴールデンウィークが終了しました。皆さんは、いかがお過ごしでしたでしょうか。私は、前半は家庭菜園の土づくりと玄関前の花壇づくり。後半は、自分の“フェイスブック”の開設に夢中になっていました。

畑づくりは、苗を早く植えたい気持ちをグッところえて、まずは“土”を耕すところから……。作物が根を張り、育つ土台である“土”は、子育てにおける“家庭”といったところでしょう。

作物を植えたら、倒れないように添木で支えながら、害虫や小鳥から守ってあげるだけ。この“添木”が“家庭教育”でしょう。すると、日光（学校教育）と水（地域の教育力）をあびながら、土（家庭）の中の栄養を吸収して、作物（子ども）は自然と育ち、花を咲かせ、実を結びます。

ナスはナスを、トマトはトマトの実をつけます。促成栽培よりも、自然栽培で育てたほうが、完熟したおいしい実になります。また、トマトに「ナスの実をつけなさい」と言っても無理ですよ。

じっくりと、その作物（その子らしさ）が実を結ぶ野菜づくり（子育て）をしたいものです。家庭菜園も5年目。毎年、野菜を育てながら思うことです。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第69号は、5月22日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～67号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まり

ます。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

~~~~~